

4. コラム — 産業保健相談員から —

産業保健相談員 関向 和明

最近、危機管理について考えることが多い。梅雨時から秋にかけて、毎日のように報道される自然災害のニュースには、我が家でも「大雨はあるが、洪水はないね。大雨が続けば土石流はあるかも。そうなれば、家は流されるな。」などと被害を想定してみたり、「非難するタイミング、避難場所、車で移動中はどうする」などのリスク回避のための対策について話してみたり、「意外とみんな考えているなあ」と感じている。東日本大震災以降、「災害に備える」意識は確実に強くなっている。昨年の台風10号は、史上初めて岩手県に台風が上陸し、想像を絶する風雨のため大災害となった。今年の秋田県南地方の水害もかつて経験したことがないものであった。これまでなかった災害に見舞われる可能性を身近に感じることで、個々の災害に対する関心は否応無しに高まっていく。気象庁では、台風はもちろんのこと、ゲリラ豪雨、竜巻、大雨などの情報を早く流すようになり、非難の是非についてもわかり易いように改善されてきており、災害に備える準備が徐々にできるようになってきている。

化学物質リスクアセスメントが義務化されて1年余りとなる。「化学物質管理の新時代が始まった」と研修会の機会を捉えて話してきた。2012年、大阪の印刷工場で起きた「規制対象外の化学物質による従業員の胆管がん発症」が明らかとなり、社会に衝撃を与えた。その後2年余りという異例のスピードでリスクアセスメントが義務化されたことは、国主導の災害防止対策から企業の自律による災害防止対策への大転換を意味する。

義務化されたあとも、オルトトルイジンによる膀胱がん発生や、有機粉じんによると思われる災害事例などが公表されている。東日本大震災では「想定外」との言葉が多く聞かれたが、未曾有の被害を経験したものは、今後起こるすべての災害は「想定外」では済まされないことは誰もが理解している。企業にとっても、さまざまなリスク対策を行うことが要求されているが、労働災害による人的リスクは企業の存続に関わる重大なものである。是非、化学物質のリスクアセスメントを実施していただきたい。指針では様々な手法が示されているが、どの方法を選択するか悩んでいる担当者も多いと思われるが、考えていてもなかなか導入に至らないことは多いので、「まずやってみよう」精神で取り組むことが重要である。実測値による方法は意外と簡単であり、なにより精度が良い。

岩手産業保健総合支援センターだより

平成29年10月1日発行 No.31



当センターのメールマガジンでもお知らせしましたが、先日、厚生労働省から平成28年「労働安全衛生調査（実態調査）」の結果が公表されました。それによると、労働者の59.5%が仕事や職業生活で強いストレスを感じているとのことでした。

当センターへ寄せられる相談でも、メンタルヘルス対策やハラスメント対策に関するものが増えてきています。当センターでは、メンタルに不調をきたしてしまった御本人、あるいはハラスメント被害に遭われている御本人からの相談には応じることはできないのですが、本来はそのような方を生じさせないことが重要であり、そのため、当センターでは、事業場にお伺いしてのメンタルヘルス対策の支援も行なっています。御希望がありましたら、御遠慮なく御相談ください。

INDEX

1. 研修会の開催予定

2. 研修会の様子

3. ご利用案内

4. コラム - 産業保健相談員から -

1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、電話019-621-5366/FAX 019-621-5367
又はホームページ (<http://www.iwates.johas.go.jp/>) のメールフォームからどうぞ。

(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。当センターのホームページでご確認ください。

10月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
10月21日(土) 14:00~16:00 盛岡 岩手県医師会館 4Fホール	産業医研修 テーマ:「石綿関連疾患診断技術研修」(専門研修) 石綿関連疾患胸部画像の読影実習 講師:東北労災病院 副院長兼呼吸器内科部長 三浦 元彦 先生 埼玉医科大学国際医療センター 画像診断教授 酒井 文和 先生	認定産業医限定の研修会です。	30名
10月23日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	カウンセリング研修Ⅲ テーマ:コミュニケーションスキルの習得「アサーション」(その1) 講師:産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士 産業カウンセラー】	2回シリーズの1回目です。アサーティブな考え方、話し方について研修を行います。	20名
10月26日(木) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ:過労死等の対策について ①脳卒中・心筋梗塞予防対策 講師:産業保健相談員 大澤 正樹 【特定医療法人盛岡繋温泉病院 診療部長】 ②過重労働者の面接指導後の対応について 講師:産業保健相談員 茂木 隆 【公益財団法人岩手県予防医学協会 産業健診部長】	過重労働対策、脳卒中予防について研修します。	20名

11月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
11月1日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	産業看護職研修 テーマ:両立支援を進めるには ①両立支援制度ガイドラインについて 講 師:産業保健相談員 阿部 恵美子【看護師・保健師】 産業保健相談員 村木 眞樹【看護師、産業カウンセラー】 ②後遺障がいと職場復帰支援について 講 師:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部 岩手障害者職業センター 阿部 芳和 障害者職業カウンセラー	治療と職業生活の両立支援制度について研修会を行います。 また、後遺障がいが残存した労働者の職場復帰支援について研修を行います。	20名
11月8日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ:労働者の健康保持に必要な課題 ①事業場に役立つ口腔保健 講 師:調整中【岩手県歯科医師会】 ②生活習慣病とアルコールの関係について 講 師:産業保健相談員 阿部 千恵子 【公益財団法人岩手県予防医学協会 健康推進課課長補佐、保健師】	労働者の健康問題と、とるべき対策について研修を行います。	20名
11月13日(月) 14:00~16:00 盛岡 アイーナ 802会議室	カウンセリング研修 Ⅲ テーマ:コミュニケーションスキルの習得「アサーション」(その2) 講 師:産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士 産業カウンセラー】	2回シリーズの2回目です。1回目に参加していない方も参加できます。	20名

12月開催

日時、場所	研修テーマ等	内容	定員
12月9日(土) 14:00~16:00 盛岡 岩手県医師会館 3F 視聴覚室	産業医研修 テーマ:過労死防止対策について ①過重労働の現状について ②過労死防止対策の概要について 講 師:調整中	認定産業医限定 の研修会です。	30名
12月18日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	カウンセリング研修 Ⅳ テーマ:職場で使えるコミュニケーションスキル「傾聴」(その1) 講 師:産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士 産業カウンセラー】	5回シリーズの1回目です。業務の中で必要不可欠な傾聴スキルについて研修を行います。	20名

2. 研修会の様子



7月以降に開催した研修会の様子です。



産業医研修(29. 7. 22)盛岡市
テーマ:面接指導に関するマニュアルについて
産業保健相談員 青木 慎一郎 先生による研修の様子です。

労働衛生対策等研修(29. 8. 10)盛岡市
テーマ:産業保健として取り組む事項
産業保健相談員 関向 和明 先生による研修の様子です。

カウンセリング研修(29. 8. 28)盛岡市
テーマ:コミュニケーションスキルの習得
コーチング(その2)
産業保健相談員 今松 明子 先生による研修。ワークの様子です。

3. ご利用案内

■ 「**岩手産業保健総合支援センター**」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。
岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。
研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)
メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスしております。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と職業生活の両立支援**」をご利用ください。
「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします

岩手産業保健総合支援センター
電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367
URL <http://www.iwates.johas.go.jp/> E-mail iwate@iwates.johas.go.jp



「**地域産業保健センター**」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。
また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行なっています。
お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

【地域産業保健センター 一覧】

□盛岡地域産業保健センター	020-0013	盛岡市愛宕町 18-6 盛岡市医師会内	019-654-2164
□宮古地域産業保健センター	027-0061	宮古市西町 1-6-2 宮古医師会内	0193-62-5880
□釜石・遠野地域産業保健センター	026-0034	釜石市中妻町 3-6-10 釜石医師会内	0193-23-9966
□遠野窓口	028-0522	遠野市新穀町 1-11 とぴあ2階 遠野市医師会内	0198-62-9182
□花巻地域産業保健センター	025-0075	花巻市花城町 3-3 渡邊花巻ビル 2階 花巻市医師会内	0198-22-3881
□一関地域産業保健センター	021-0884	一関市大手町 3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル 5F 一関市医師会内	0191-23-5110
□気仙地域産業保健センター	022-0003	大船渡市盛町字内ノ目 6-1 気仙医師会内	0192-27-6700
□二戸・久慈地域産業保健センター	028-6101	二戸市福岡字八幡下 11-1 二戸市総合福祉センター 二戸医師会内	0195-23-4466
□久慈窓口	028-0056	久慈市中町 1丁目 37番地久慈市役所便庁舎 2階 久慈医師会内	0194-53-0114